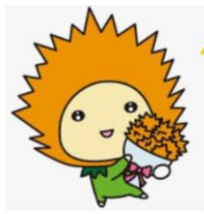


Second Home

出羽小学校5年1組 R8. 1. 29 NO. 85

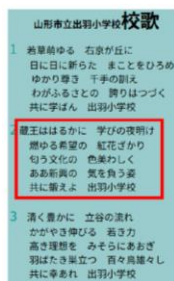
どうして「紅花」が出羽の宝なの？

3学期の総合的な学習の時間は「紅花」に注目しました。



べにっち

紅花をモチーフにしたマスコット



2 蔵王ははるかに 学びの夜明け
燃ゆる希望の 紅花ざかり
匂う文化の 色美しく
ああ新興の 気を負う姿
共に鍛えよ 出羽小学校

どうして「紅花」が
出羽の宝？

出羽地区のマスコットが「紅花」をモチーフしたべにっち。出羽小の校歌の歌詞（2番）に「紅花ざかり」。「どうして「紅花」が出羽の宝なの？」と問いました。

「もともと出羽で紅花がたくさん作られていたから？」という意見が出ました。

「でも、今はあまり作られていないよね…」



白鷹町の紅花生産量

紅花生産・日本一 日本の紅（あか）をつくる町



どうして「紅花」が
出羽の宝？

「紅花」を大切にしている市町村は紅花まつりを開催していることを伝えました。天童市、河北町、中山町、白鷹町。出羽地区ではしていません。改めて「どうして「紅花」が出羽の宝なの？」と問いました。

「出羽の紅花が他の市町村に広がっていったんじゃない？」

「一番の最初の紅花が出羽のものなんじゃない？」



山形県市町村別紅花生産量ベスト5

順位	市町村名	概要・特徴
1位	白鷹町	県全体の約60%~75%を占める最大の産地。加工品（紅餅）の生産も盛んです。
2位	山形市	高瀬地区などを中心に栽培。観光・文化継承としての側面も強いです。
3位	河北町	「紅花の里」として知られ、歴史的に重要な産地。現在も一定量を維持。
4位	寒河江市	村山地方の主要産地の一つ。
5位	上山市	伝統的な栽培を継続しています。

山形市でも紅花まつりがあることを伝えました。しかし、その場所は出羽地区ではなく高瀬地区。さらに、山形県の紅花生産量ベスト5も紹介。出羽地区の名前はありません。

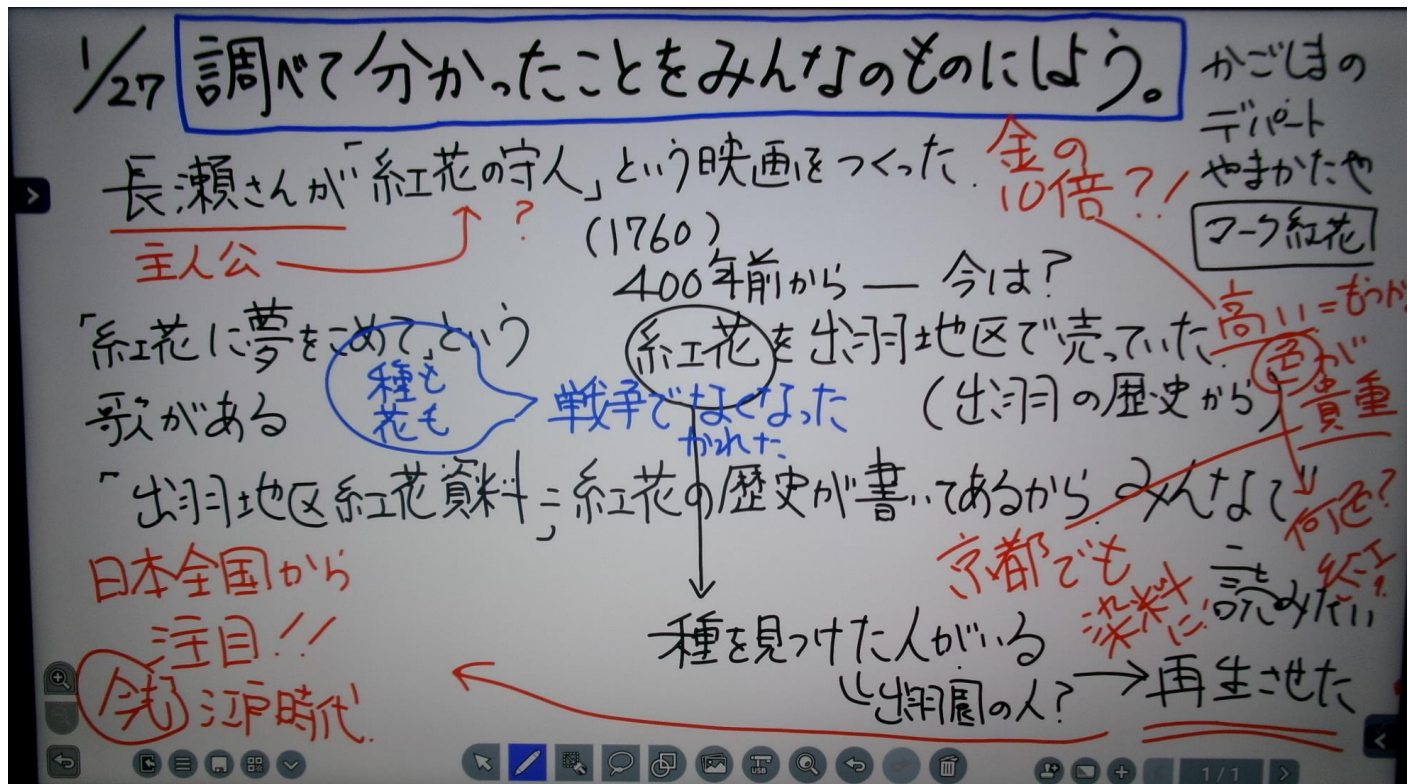
「どうして「紅花」が出羽の宝なの？」

「出羽の宝と言われてるのに、宝と言われるほど紅花がない…」

子どもたちは、どうして「紅花」が出羽の宝なのか、分からなくなっていました。

「紅花」が出羽の宝と言われる理由を調べよう

分からないのなら調べればいいのです。早速、調べ学習が始まりました。「出羽のすてき」を広げようの学習経験を生かして、様々な方法で調べ学習を行います。
調べ学習は先週の金曜日と今週の火曜日の2回行いました。



調べ学習の時間は2日間合わせて30分程度。それでも様々な情報を見つけってきました。

「調べて分かったことは自分だけのものにしないで、みんなのものにしよう」と

伝え、それぞれが発見したことを共有しました。その時の記録が上の写真です。

- ・長瀬さん（畑の先生）が「紅花の守人」という映画を作った。しかも、主人公！？
- ・「紅花に夢をこめて」という歌がある。
- ・「出羽地区紅花資料」に紅花の歴史が書いてある。みんなで読みたい。しかも、この資料は長瀬さんが作った。
- ・400年前、紅花を出羽地区で売っていた。
- ・紅花はとても高かった。金の10倍の値段。
- ・紅花の色が貴重。京都でも染料になっていた。
- ・紅花が戦争で種も花も枯れてしまい、なくなってしまったけど、種を見つけた人がいる。その人が出羽の人で、出羽園の人らしい。
- ・鹿児島県に「やまがたや」という山形県のデパートがあり、そのデパートのマークが紅花。
- ・江戸時代、山形の紅花は日本全国から注目されていた。

このようなことがみんなのものになりました。

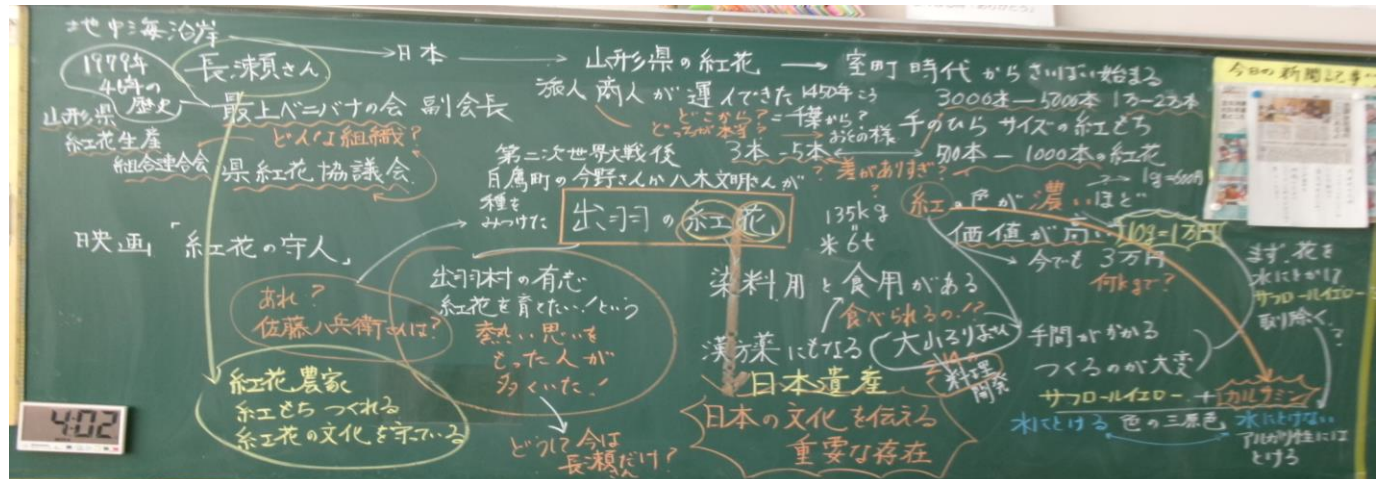
- ？1：長瀬さん（畑の先生）って、何者？
- ？2：どうして金の10倍もの価値があるの？何色が貴重なの？
- ？3：種を見つけた人って誰？どのようにして復活させたの？

この3つの？が見えてきました。今後はこの3つの？の答えを探していこうと思っています。

Second Home

出羽小学校5年1組 R8. 2. 20 NO. 93

どうして「紅花」が出羽の「宝」なの？2



どうして「紅花」が出羽の「宝」なの？の学習が始まって2週間が経ちました。これまで子どもたちは出羽紅花資料や図書室のある紅花資料を読んだりインターネットで紅花について検索したりしながら「紅花」についての調べ学習に取り組んできました。

テーマ	疑問
長瀬さんについて	長瀬さん（畑の先生）って、何者？
紅花について	どうして金の10倍もの価値があるの？何色が貴重なの？
出羽の紅花について	種を見つけた人って誰？どのようにして復活させたの？

3つの疑問についても少しずつ明らかになってきました。すると、実際に長瀬さんに話を聞きたい！金の10倍もの価値がある紅花の「紅」を見たい！という思いをもち始めました。

【長瀬さんについて】

最上ベニバナの会副会長 県紅花協議会 山形県紅花生産組合連合会 映画「紅花の守人」
紅花農家 紅もちをつくることできる 紅花の文化を守っている

【紅花について】

室町時代から栽培が始まる 旅人・商人が運んできた？千葉のお殿様が運んできた？
手のひらサイズの紅もちには紅花500～1000本必要？いや3本～5本？いや3000本～5000本？「紅」の色が濃いほど価値がある 今でも10g 1万円
紅もちをつくるのはとても手間がかかり大変。サフロールイエローとカルサミンという色素があり、カルサミンが1%しか取れない貴重な「紅」。紅花は日本の文化を伝える重要な存在。
「紅花を育てたい」という熱い思いをもった有志が集まり紅花栽培が始まった。

【出羽の紅花について】

第2次世界大戦後、白鷹町の今野さんか八木文明さんが種を見つけた？ん？佐藤八兵衛さんは？

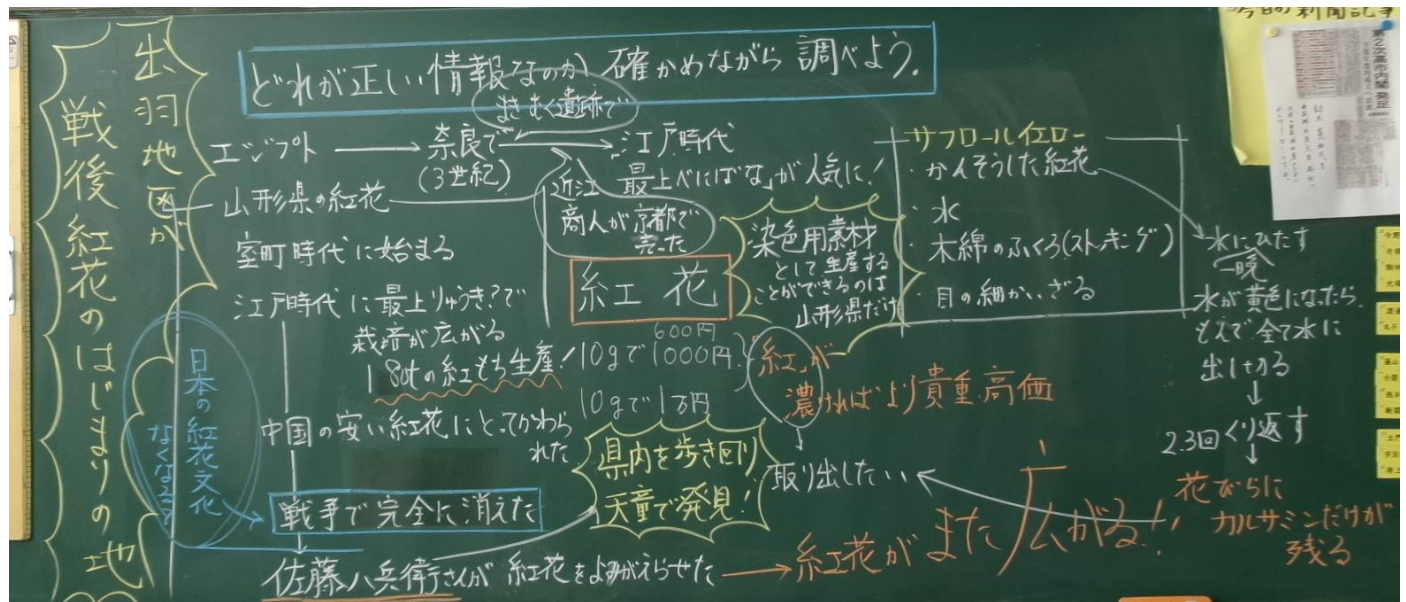
インターネットで得た情報もあり、どれが正しい情報なのかが分からなくなっている部分も出てきました。そんな中、子どもたちから生まれてきた願いが・・・

★長瀬さんに直接話を聞きたい！ ★紅花を育てたい！ ★1%の紅をつくりたい！
いよいよ、学習が新しいフェーズに入っていくような予感がしてきました。

Second Home

出羽小学校5年1組 R8. 2. 24 NO. 94

どうして「紅花」が出羽の「宝」なの? 3



前号の続きです。20分間の調べ学習後の分かったことを伝え合いました。

- ・紅花のカルサミン（赤の色素）を取り出すためには、まず、サフロールイエローを取り除く必要がある。そのサフロールイエローの取り除き方は、木綿の袋に乾燥した紅花を入れて水にひたす。水が黄色になったら、袋をもんで、全て水を出し切る。この作業を2、3回繰り返す。すると、花びらにカルサミンだけが残る。
- ・紅花はエジプトから伝えられ、3世紀ごろに奈良の纏向遺跡からたくさん出土した。近江商人が京都で売り始め、江戸時代になると「最上紅花」が人気になった。
- ・山形県の紅花は、室町時代に始まり、江戸時代に栽培が広がり、180tの紅もちが生産された。その後、中国の安い紅花が出回り衰退する。そして戦争で、焼けたり枯れたりして完全に消えてしまった。
- ・戦後、佐藤八兵衛さんが県内を歩き回り、天童で種を発見した。そして、紅花を蘇られた。そして、紅花がまた広がっていった。
- ・染色用素材として生産することができるのは、山形県だけ。

★戦後、佐藤八兵衛さんが紅花の種を見つけて花を咲かせ、種を増やした

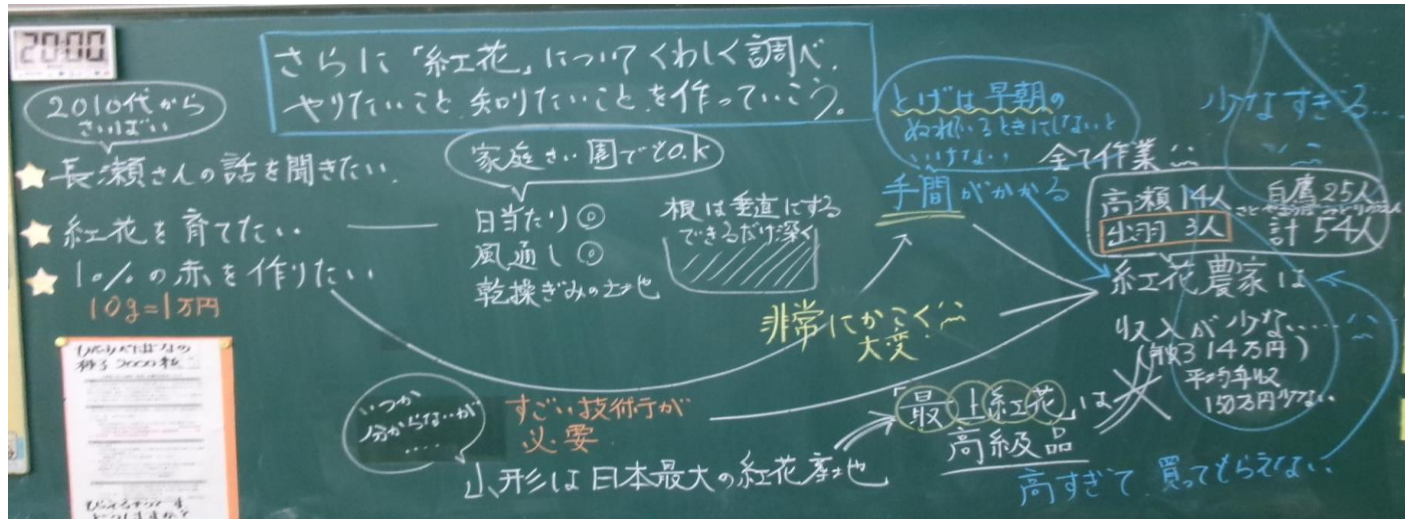
ことで、最上紅花は復活した＝戦後紅花の始まりの地

★染料用素材（紅もち）を生産できるのは山形県だけ

Second Home

出羽小学校5年1組 R8. 2. 26 NO. 96

どうして「紅花」が出羽の「宝」なの？4



24日の総合では、「戦後紅花の始まりの地である出羽地区。それなのに、紅花農家が長瀬さんしかいないのはなぜなのか？」という問いを投げかけるところから授業を始めました。

20分間の調べ学習後・・・

- ・紅花を育てるには、日当たりがよく、風通しのよい場所がよい。乾燥気味の土地がよい。また、根は垂直にする方がよいということから、深めのプランターがよいのではないかな。
- ・紅花栽培は、とても手間がかかる。紅花のとげは、早朝の茎が濡れている時にしないといけない。しかも、全て手作業。
- ・紅花は、家庭菜園でも栽培できるが、質の高い「赤」を取り出すには、すごい技術が必要。
- ・紅花栽培は非常に過酷で大変。
- ・紅花農家は、手間がかかり、収入も少ない。

ここで、「紅花の「紅」は、濃いものだと、10gで1万円で売れるなら、収入は少なくないのでは？」「紅花農家の収入が少ないなら、「紅」を売ったお金はどこに行くの？」と問いました。

- ・紅花農家の収入は年収314万円。平均年収が450万円くらいだから、それよりも150万円くらい少ない。紅花だけでは生活できない。
- ・「最上紅花」は高級品。高すぎて、買ってもらえない。売れない。

すると、

- ・山形県の紅花農家は、高瀬地区で14人 出羽地区で3人 白鷹町で25人 さとやま工房6人 みどりのうえん6人の計54人。

54人という人数に驚きを隠せない子どもたちでした。

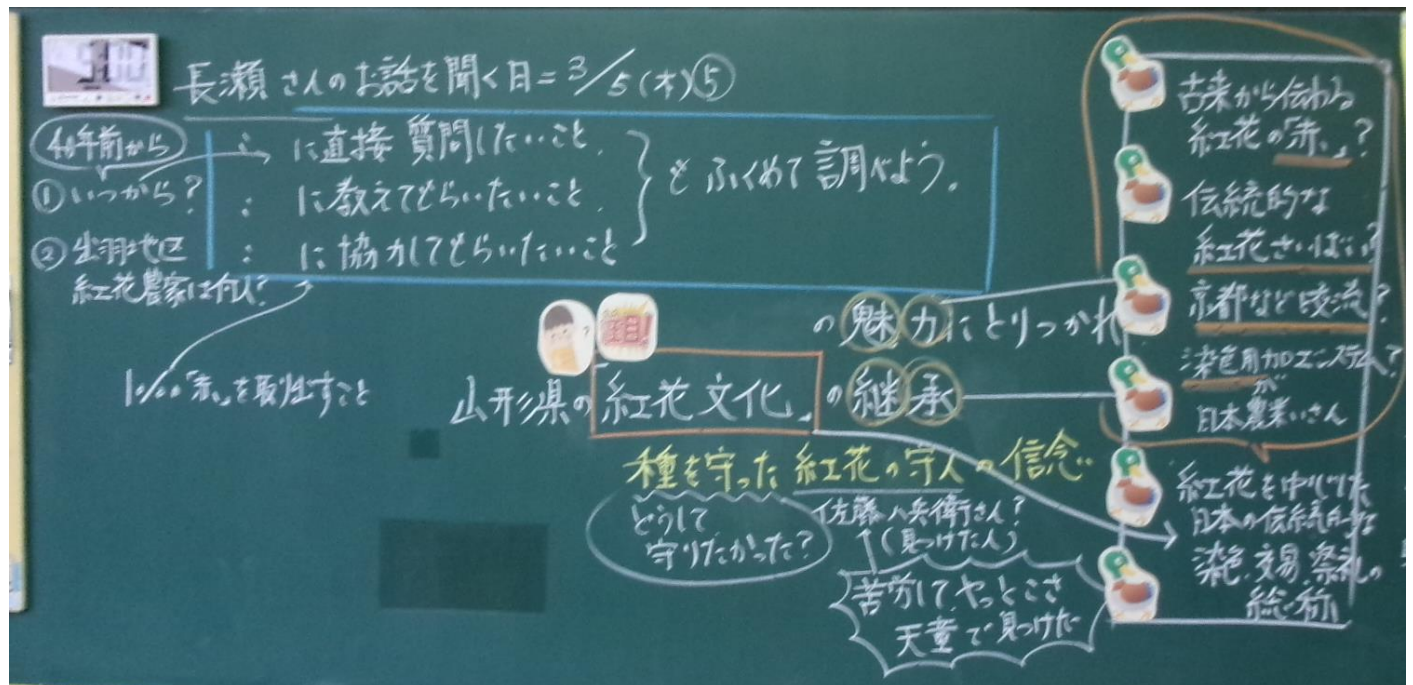
では、手間がかかり、全てが手作業。収入が少ない紅花栽培。

なぜ、長瀬さんは、紅花農家を続けているのでしょうか・・・???

Second Home

出羽小学校5年1組 R8. 2. 27 NO. 97

どうして「紅花」が出羽の「宝」なの？5



長瀬さんのお話を聞く日が3月5日（木）5時間目に決まりました。

そこで、①長瀬さんに直接質問したいこと

②長瀬さんに教えてもらいたいこと

③長瀬さんに協力してもらいたいことを含めて調べ学習に取り組みました。

調べていく中で、

長瀬さんは山形県の「紅花文化」の魅力に取りつかれ、

「紅花文化」の継承者となっている

ということが分かりました。

そこで生まれた新しい問い・・・「紅花文化とは何か？」

少し時間を取り、「紅花文化」について調べることにしました。

紅花文化とは・・・古来から伝わる紅花の「赤」？

紅花文化とは・・・伝統的な紅花栽培？

紅花文化とは・・・京都などとの交流？

紅花文化とは・・・染色用加工システム？

紅花文化とは・・・紅花を中心とした日本の伝統的な染色、交易、祭礼の総称？

まだ子どもたちの中では、長瀬さんが守ろうとしている「紅花文化」とは何なのか、しっくりきていないようでした。来週、長瀬さんのお話で明らかになるのでしょうか。楽しみです。

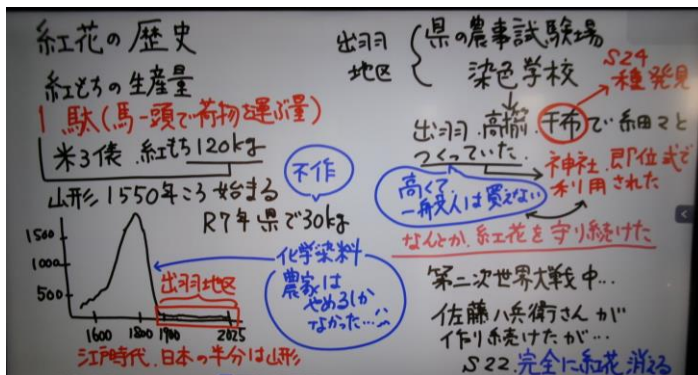
Second Home

出羽小学校5年1組 R8. 3. 9 NO. 98

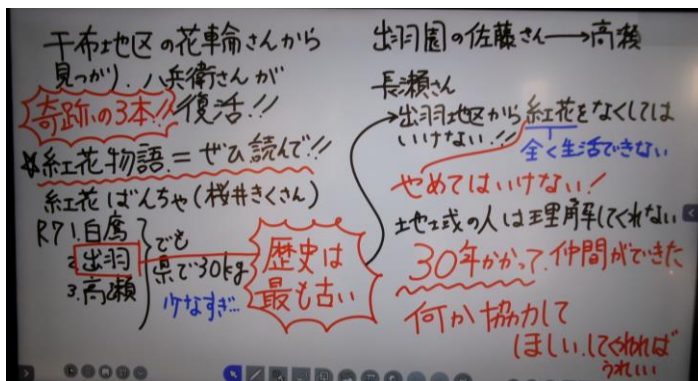
紅花の守人：長瀬さんのお話をお聞きしよう



3月5日（木）の5校時、ついに学校に長瀬さんがやってきました。これまでお伝えしてきたように子どもたちは、調べ学習を重ね、出羽の紅花について学んできました。そんな中での長瀬さんのお話・・・子どもたちは本当に真剣に聞いていました。



長瀬さんのお話は「紅花の歴史」から始まりました。江戸時代には日本の半分以上を山形県で生産していたこと、明治時代に化学染料によって紅花が衰退したこと、それでも「出羽」「高瀬」「干布」で細々と生産していたことが分かりました。紆余曲折がありながらも、なんとか紅花を守り続けてきたのでした。戦争で紅花生産が禁止された中でも、佐藤八兵衛さんが作り続け、戦後、種を見つけ、再生させたこと、子どもたちが調べて分かったこととリンクしていく中で、子どもたちの学びが深くなっていきます。



さらに、高瀬地区の紅花も出羽園の佐藤さんが伝えたものであり、生産量1位の白鷹町もまだまだ歴史が浅いことも分かり、出羽地区がもっとも歴史が古いことも分かりました。

そして、「長瀬さんが紅花農家を続けている理由」です。

「出羽地区と紅花の深いつながりを知り、出羽地区から紅花をなくしていけないと強く思い、その思いを持ち続けてきた」のだそうです。しかし、手間がかかるにもかかわらず収入が少ない紅花づくりは地域の方々に理解してもらえず、理解してもらうのに30年かかったことも話してくださいました。そんな長瀬さんの願いは「何か協力してほしい。自分たちができること何かしてくれればうれしい。」ということでした。

そして、最後に、

- ①まず、紅花についてよく知る。
- ②そして、紅花の価値をより多くの人と共有する。
- ③そして、情報を発信する。
- ④最後に、行事に参加する。

これからの学習の道筋を示してくださいました。

より質の高い紅花を育てるための種まきの時期も教えてもらいました。紅花の見方はもちろん、出羽地区の見方、そして、長瀬さんの見方も大きく変容した子どもたち。これからも子どもたちの紅花の学びは続いていきます。

出羽小学校5年1組 R8. 3. 11 NO. 100

これまでの学習を通して、「紅花」についてわかったことを自分の言葉でまとめよう。

Mさんのふり返し

これまでの学習を通して、「紅花」についてわかったことを自分の言葉でまとめよう。

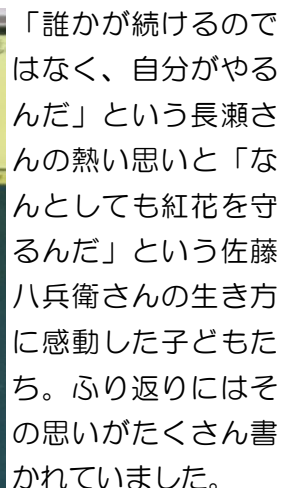
Hさんのふり返し

これまでの学習を通して、「紅花」についてわかったことを自分の言葉でまとめよう。

Rさんのふり返し

これまでの学習を通して、「紅花」についてわかったことを自分の言葉でまとめよう。

Rさんのふり返し



Rさんのふり返りに「佐藤さんやいろんな人が紅花をまたよみがえらせた。紅花の歴史にはいろんな人が関わって、たくさんの出来事がありながらも、また出羽地区に紅花がよみがえることができた」とありました。これまでの学習の中で、長瀬さん以外にも紅花に関わる人はいるようです。

- 子どもたちは、長瀬さん以外の人たちにも会いたいという思いが出てきました。

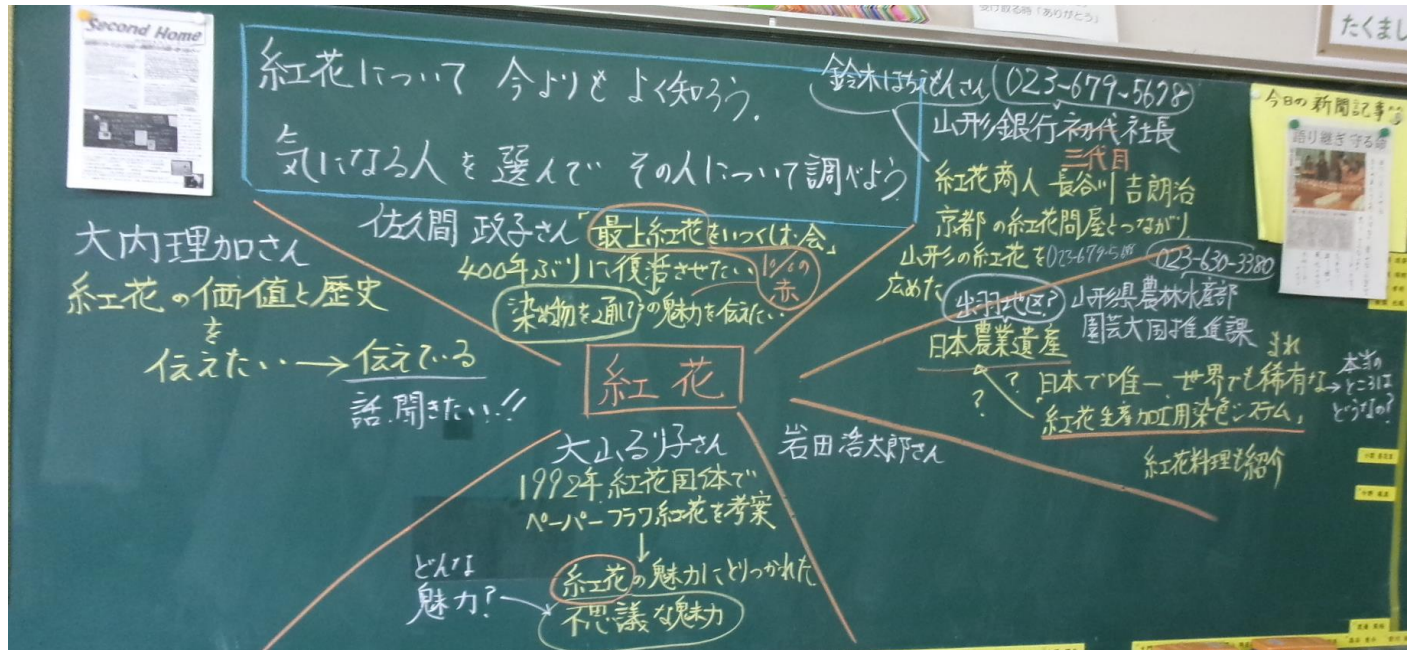
そして、図書室で見つけた「紅花ものがたり」。早速、読み始めた子どもたちが出てきました。



Second Home

出羽小学校5年1組 R8. 3. 13 NO. 102

どんな思いで紅花とかかわっているのか



5年生最後の総合の学習は前回見つけた紅花にかかわっている人たちから気になる人を選んで調べる時間になりました。

大山るり子さん・・・紅花そのものの魅力に取りつかれた

1992年の紅花国体でペーパーフラワー紅花を考案し、そこから紅花の魅力に取りつかれた。紅花には不思議な魅力があるという→紅花の不思議な魅力とはどんな魅力なのか????

佐久間政子さん・・・最上紅花の1%の赤の魅力に取りつかれた

寒河江市慈恩寺の舞楽の老婆の衣装を紅花染めにする。400年ぶりに復活させたいという願いを実現させようとしている。染め物を通して、最上紅花の魅力を伝えたい。

大内理加さん・・・紅花の価値と歴史伝え続けている→長瀬さんと似ている→お話を聞きたい!!!

山形銀行3代目社長：長谷川喜朗治さん・・・紅花商人

京都の紅花問屋とつながり、上方で山形の紅花を広めた。

山形県農林水産部園芸大国推進課・・・日本農業遺産と関係

「日本で唯一、世界でも稀有な紅花生産加工用染色システム」が日本農業遺産→出羽地区のこと?

5年生の学習はここまでです。紅花に関わる人たちとつながり、その人となりを知ることさらに新しい発見ができることでしょう。6年生での学習も楽しみです。